

2019年度 第1四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	輸送材料、発光材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、インクジェットプリンター用染料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業

第1四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

連 結	2018年度	2019年度	前年同期比
売 上 高	8,553	8,497	▲ 56
営 業 利 益	615	472	▲ 142
経 常 利 益	798	486	▲ 312
親会社株主に帰属する 当期純利益	542	304	▲ 237

為替レート

\$=109.53円
W=0.1004円

\$=109.66円
W=0.0938円

\$=ドル
W=韓国ウォン

- **売上高**は、基礎化学品セグメント等が増加したものの、機能性色素、物流関連、アグロサイエンスの各セグメントが減少し、56百万円の**減収**
- **営業利益**は、売上高の減少に加え、原燃料価格の高騰等により、売上原価率が上昇し、142百万円の**減益**
- **経常利益**は、営業利益の減少に加え、前期の為替差益が当期は為替差損に転じたこと等により、312百万円の**減益**
- **親会社株主に帰属する当期純利益**は、経常利益の減少等により、237百万円の**減益**

(単位:億円)

科目	2019年 3月末	2019年 6月末	増 減
(流動資産)	273	257	▲15
現預金	75	66	▲9
売上債権	124	113	▲11
棚卸資産	67	72	+4
その他	5	6	+0
(固定資産)	297	296	▲1
有形・無形 固定資産	209	212	+3
投資有価証券	73	68	▲4
その他	15	15	▲0
合計	571	553	▲17

科目	2019年 3月末	2019年 6月末	増 減
(負債)	202	190	▲12
仕入債務	55	46	▲8
有利子負債	86	82	▲3
その他	61	61	+0
(純資産)	368	363	▲5
資本金	111	111	-
資本剰余金	87	87	▲0
利益剰余金	99	100	+1
その他	70	64	▲6
合計	571	553	▲17

財務指標

- ・自己資本比率 59.5% ⇒ 60.7%
- ・D/Eレシオ 0.25倍 ⇒ 0.25倍

有利子負債 86億円 ⇒ 82億円

第1四半期累計

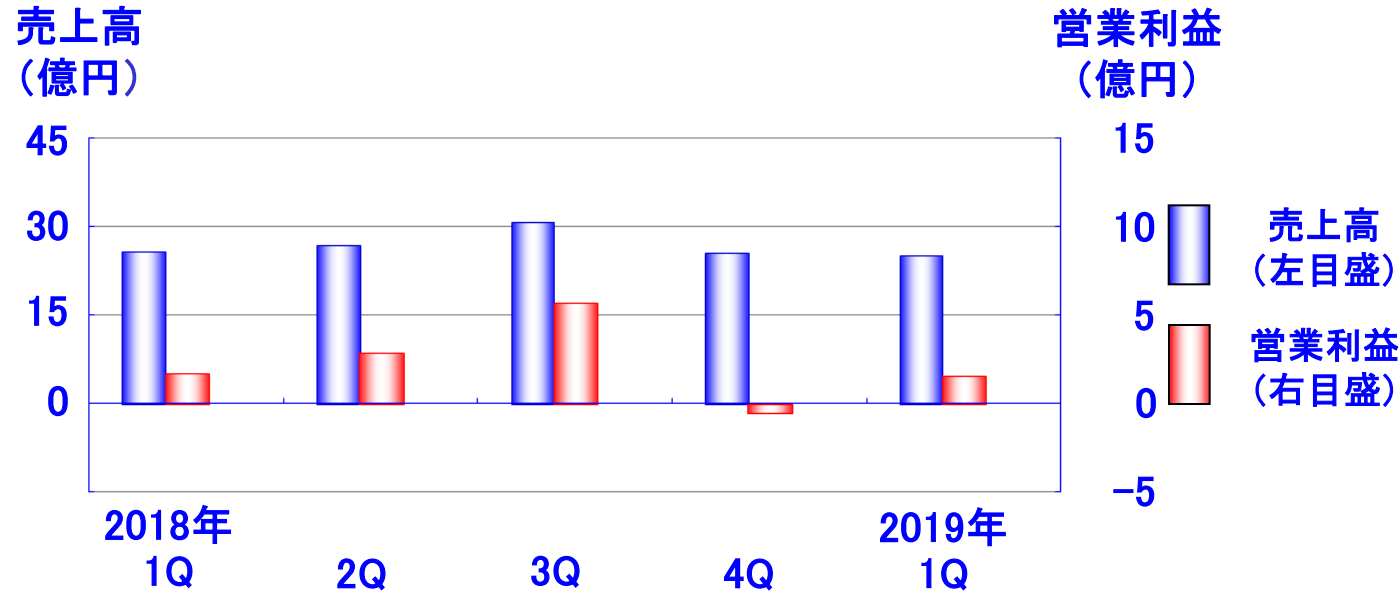
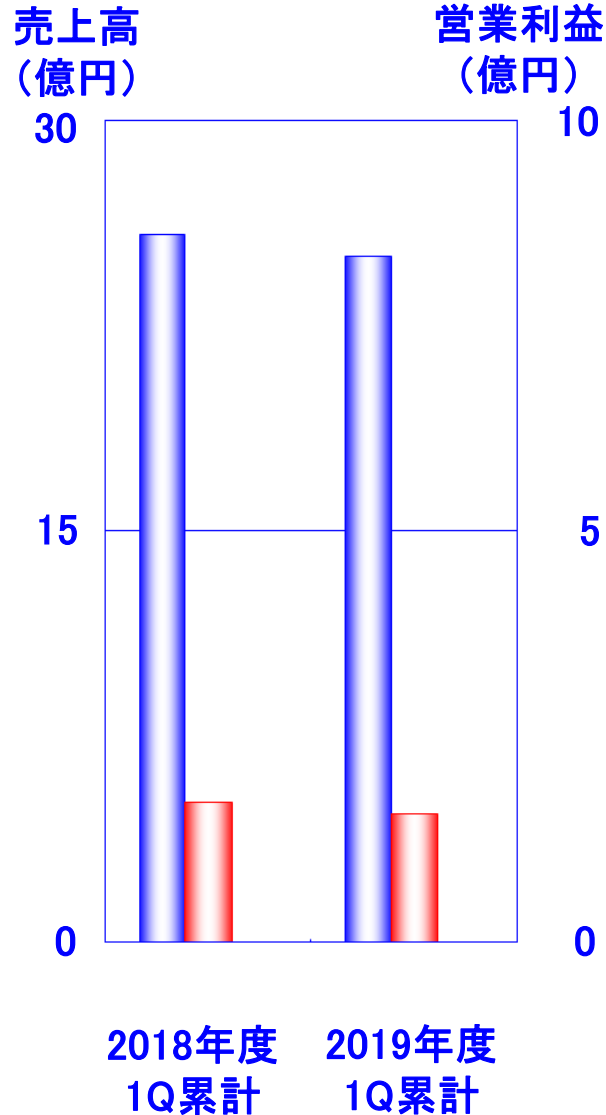
単位：百万円
表示：百万円未満切捨

セグメント	2018年度	2019年度	前年同期比
機 能 性 色 素	2,584	2,502	▲ 82
機 能 性 樹 脂	2,783	2,787	+ 4
基 礎 化 学 品	1,668	1,727	+ 59
アグロサイエンス	968	945	▲ 22
物 流 関 連	517	491	▲ 25
そ の 他	32	42	+ 9
合 計	8,553	8,497	▲ 56

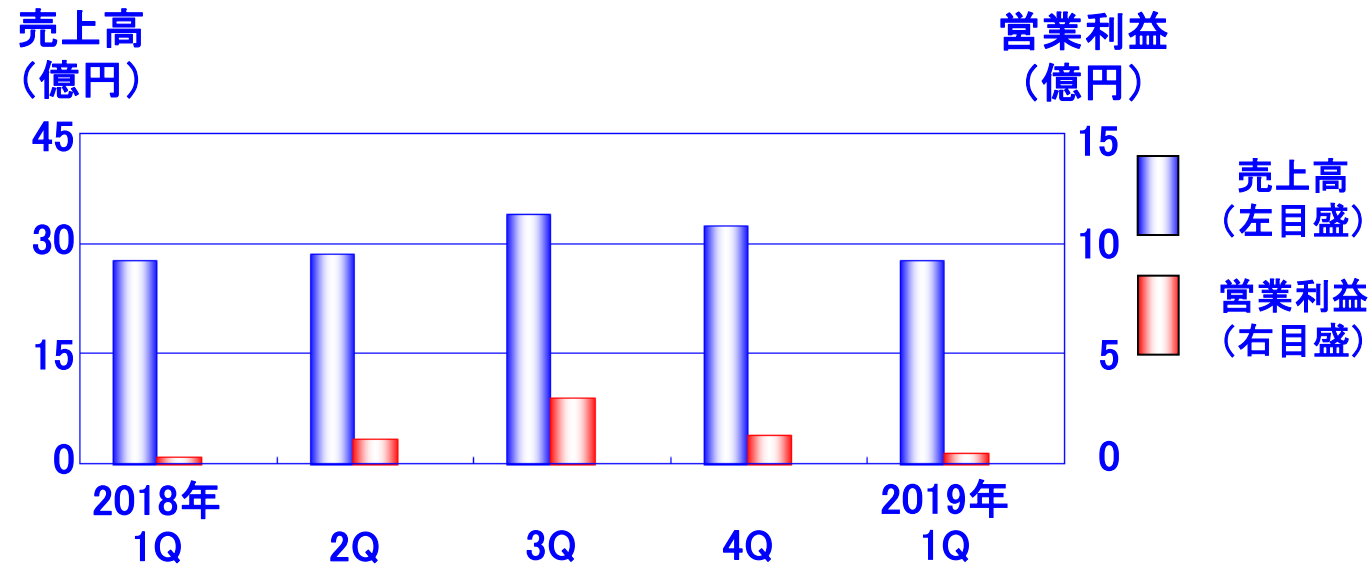
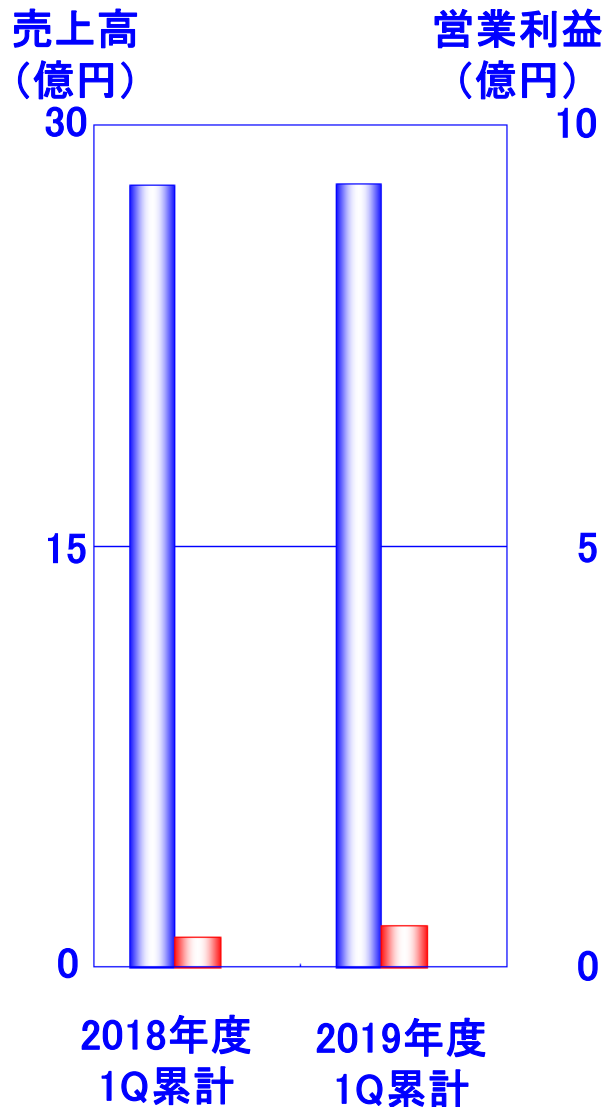
第1四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

セグメント	2018年度	2019年度	前年同期比
機 能 性 色 素	170	156	▲ 13
機 能 性 樹 脂	35	49	+ 13
基 礎 化 学 品	191	110	▲ 80
アグロサイエンス	102	58	▲ 43
物 流 関 連	116	108	▲ 8
そ の 他	0	▲ 12	▲ 13
合 計	615	472	▲ 142



イメージング材料	・プリンター向けで需要低迷が継続しており、減収	↓
有機EL材料	・ディスプレイ分野での需要が堅調に推移し、前年同期並み	→
色素材料	・繊維向け染料の需要が増加したが、デジタル家電向けアルミ着色用染料が、需要に対し生産が追い付かず、前年同期並み	→



樹脂材料

・ウレタン原料向けの需要が減少し、減収



建築材料

・工事では大型案件の獲得により増加したが、材料販売が振るわず、前年同期並み



特殊化学品

・医薬向けの需要などが増加し、増収

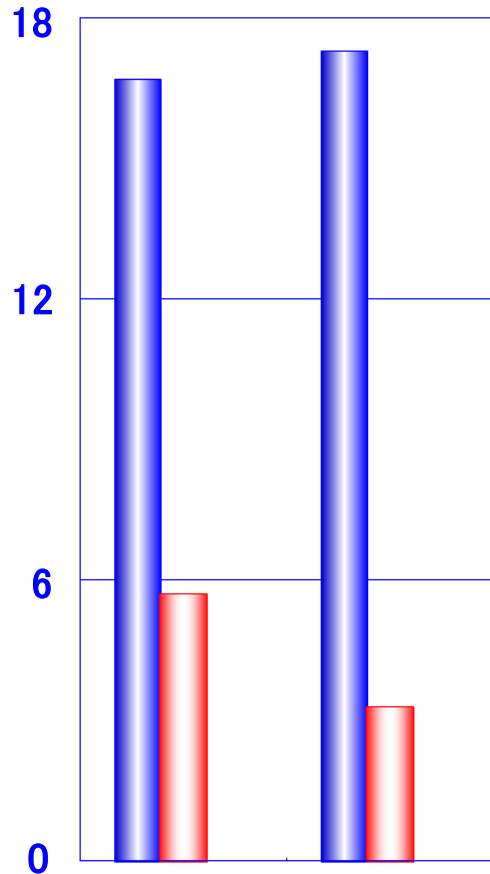


売上高
(億円)

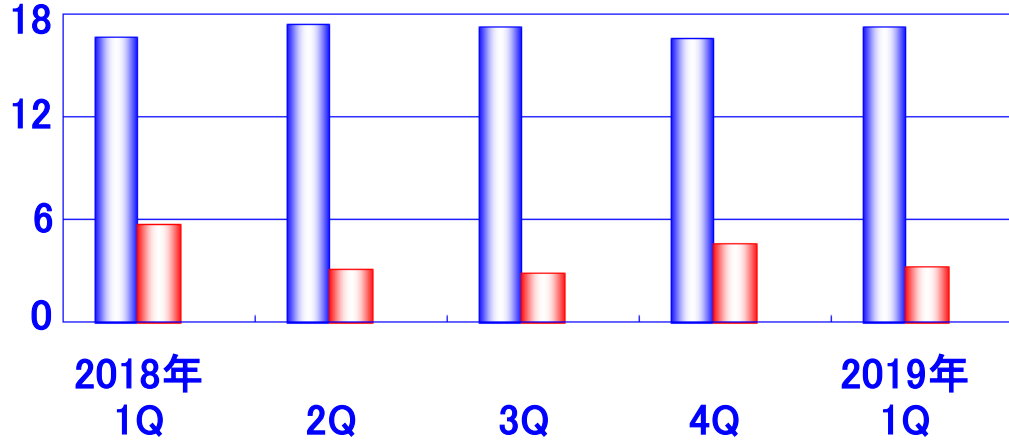
営業利益
(億円)

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



2018年度 1Q累計 2019年度 1Q累計



売上高 (左目盛)
営業利益 (右目盛)

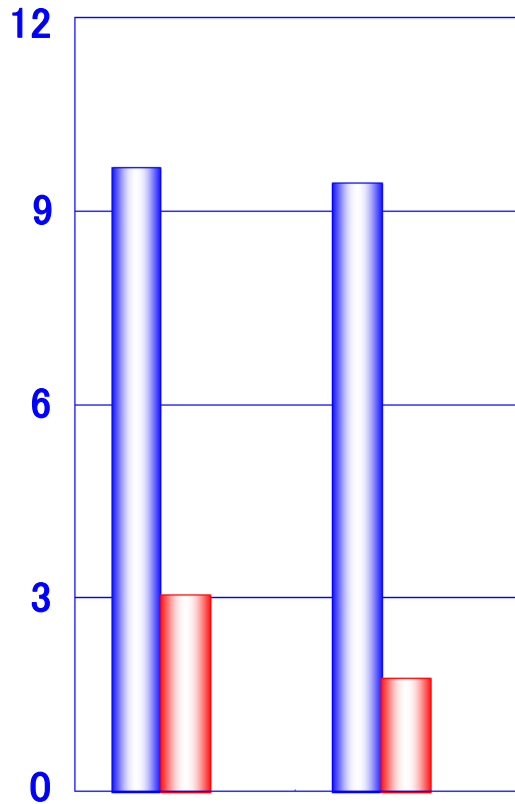
過酸化水素
及び
誘導品(※)

・工業向けなどで需要が増加し、増収



※過炭酸ナトリウム、過酢酸等

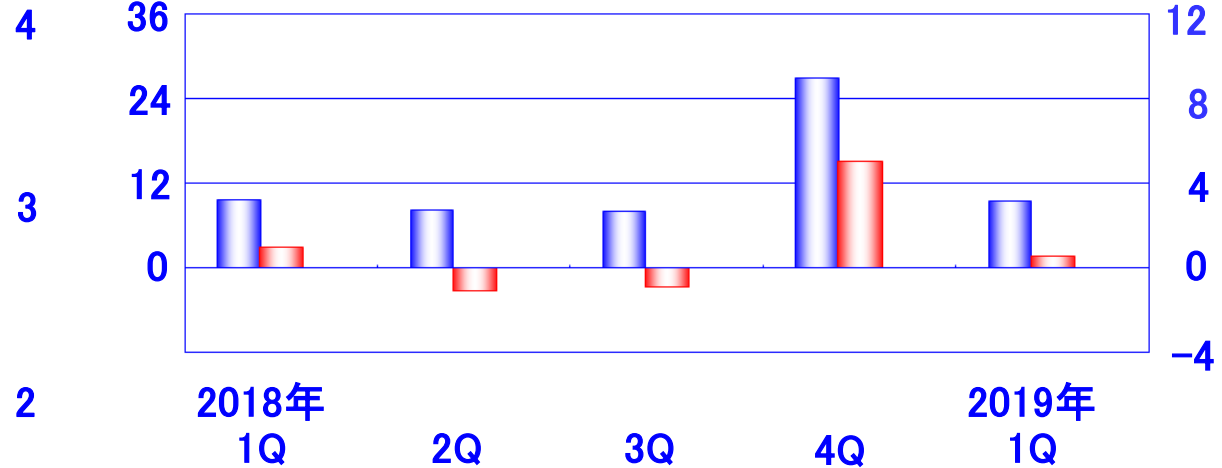
売上高
(億円)



2018年度
1Q累計

2019年度
1Q累計

営業利益
(億円)

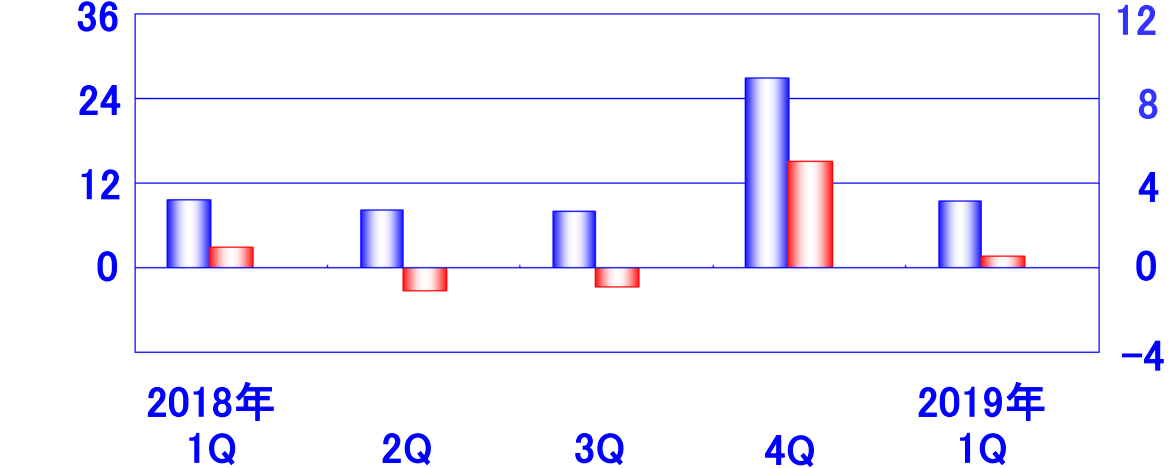


2

1

0

売上高
(億円)



2018年
1Q

2Q

3Q

4Q

2019年
1Q

売上高
(左目盛)
営業利益
(右目盛)

アグロサイエンス

・ゴルフ場・農耕地向け除草剤や、
殺虫剤等で需要が増加したが、
家庭園芸向け除草剤等は、需要が減少し、減収

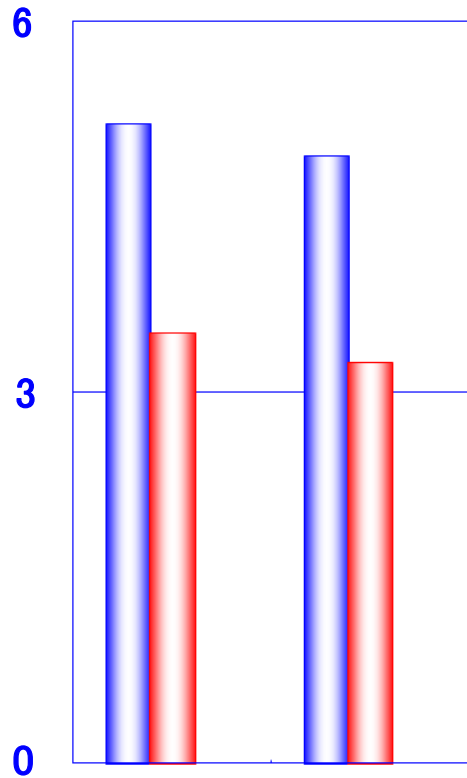


売上高
(億円)

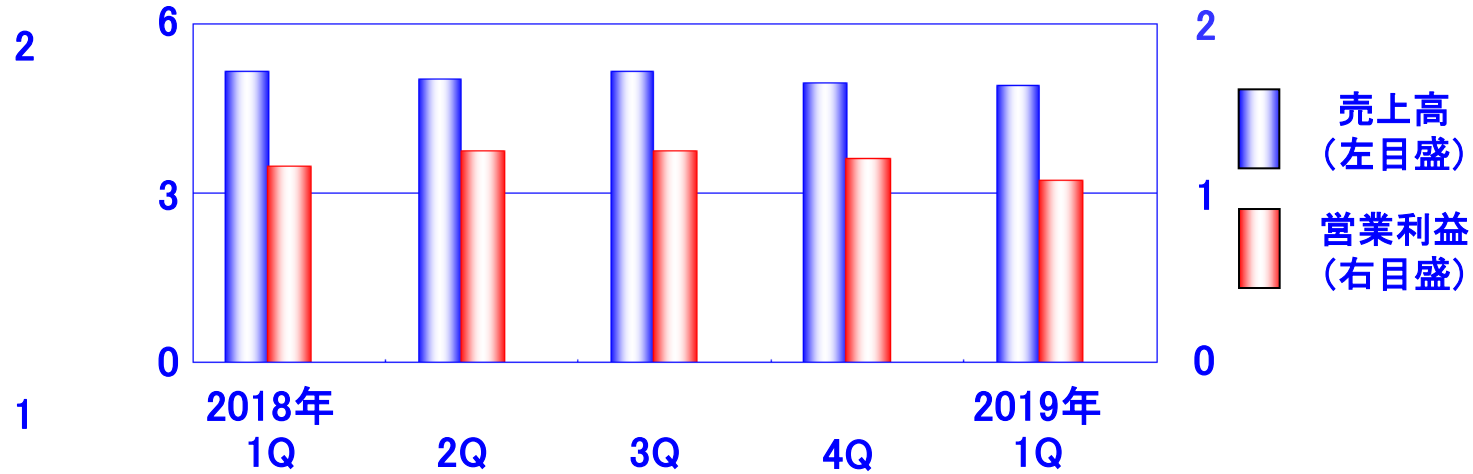
営業利益
(億円)

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



2018年度 1Q累計 2019年度 1Q累計



物流関連

- ・倉庫保管量や、輸出の取り扱い量の減少により、減収